

第4章 北区が今後取り組む必要のある課題

前章までの北区の現状やこれまでの取り組みの評価を踏まえ、持続可能な生活交通網の実現に向けた課題を整理しました。

持続可能な生活交通網の実現に向けた課題

1. 公共交通を利用しにくい地域への対策

- ・鉄道や路線バスによって、市の中心部への移動は比較的充実しているものの区内を移動するための生活交通網は十分とは言えない。
- ・病院等の目的バスの運行は年々増加傾向にあり、多様な移動需要に対応するためには、連携していくことも手段である。

2. 既存の公共交通網の利便性向上と周知

- ・少子高齢化を背景に、高齢者の利用割合が増加傾向にあるなど、地域の実情は変化してきており、既存公共交通網の利用実績の分析と運行計画の見直しは常に必要である。
- ・区バス・住民バス（デマンド交通含。以下「住民バス」という。）ともに、若年層をはじめとして利用者数が伸び悩んでおり利用促進に向けてわかりやすい情報発信が必要である。

3. 公共交通を地域みんなで支える仕組みづくり

- ・区バス・住民バスの運行に際し、地域との協働を進める中で、持続可能な公共交通についてともに考えていくことが必要である。
- ・また、生活交通網の全般について、区内の交通関係者と積極的な意見交換を行い、情報を共有していくことが必要である。